

加納の国



<http://kanou-jyo.net/>

第18号
H26年3月

発行：加納まちづくり会



加納 かめ姫

梅の花が満開になり、ようやく気温も15℃を超えるようになって、ずいぶん暖かさを感じるようになりました。前号(12月)から数ヶ月しか経っていませんが、我が加納ではいろんな行事が執り行なわれました。本号では、それらの行事を中心にお知らせします。

- ①加納草子の発行
- ②加納城跡・本丸 発掘調査 現地説明会
- ③先進地研修旅行(愛知県津島市、岐阜県海津市)
- ④旧加納町役場跡地再整備基本構想の打合せ
- ⑤奥平信昌公400回忌追善法要(中山道加納宿文化保存会 主催)
- ⑥平成26年度 総会の開催案内

1. 加納草子の発行



第1号(文月号)



第2号(霜月号)



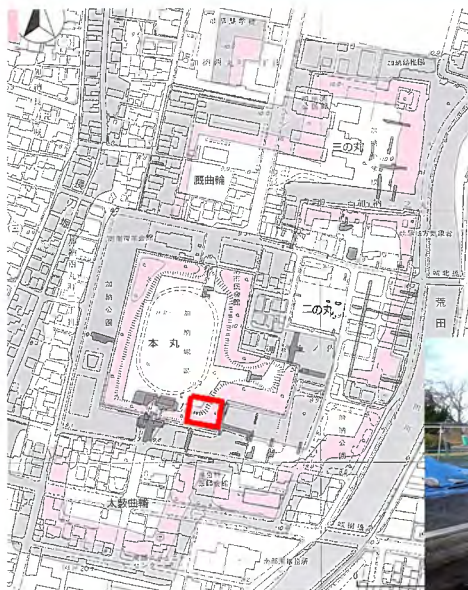
第3号(睦月号)



第4号(如月号)

加納まちづくり会では、平成25年度文化庁文化芸術振興費補助金(文化遺産を生かした地域活性化事業)を受けて左に掲げる「加納草子」を、第1号から第4号まで発行致しました。我が加納についての情報が盛り沢山です。ぜひお読み下さい。

2. 加納城跡・本丸発掘調査 現地説明会



発掘箇所

平成25年度 加納城跡発掘調査(本丸)の現地説明会が、12/20(金)に行なわれました。今回は南東角の臆病門のすぐ側になります。出土品は今までと同様で瓦・陶磁器類が多くを占めた他、近世加納城の遺構や中世加納城の遺構も発見できました。

先日、二の丸で確認された白漆喰池のような大発見はありませんでしたが、本丸の全容解明に向けて、また一步着実に歩んだ発掘成果であったと言えます。



3. 先進地研修旅行（愛知県津島市、岐阜県海津市）



2/16(日)に開催された先進地視察研修旅行の参加者は30名程度で、加納高校の生徒さんや鶯谷中学校の生徒さんも参加しました。

まず津島神社の「津島天王祭」で有名な愛知県津島市を訪れました。ここでは30名ほどの参加者が10名程度3班に分かれて、それぞれガイドによって、古い街並みを案内してもらいました。ガイドは「津島ガイドボランティア」の大橋忠彦会長さんなど3名という贅沢さでした。もちろん無料です。

津島市内で昼食の「信長膳」を頂いた後は岐阜県に入り、治水タワーに上り濃尾平野を一望、ついで海津歴史資料館を見学した後、お千代稲荷で散策やショッピングをしました。

お千代稲荷界隈は、一時は淋しい時期もありましたが、マスコミに取り上げられたせいでしょうか定番のドテ、串カツ、ウナギそして漬物などの店に加えて、近年は新しい店、特に若者向けの店が開店し、にぎわいを取り戻したようです。やはりお千代稲荷の門前町の特性をいかした町なのです。

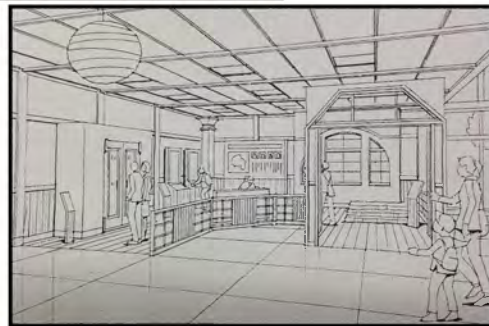
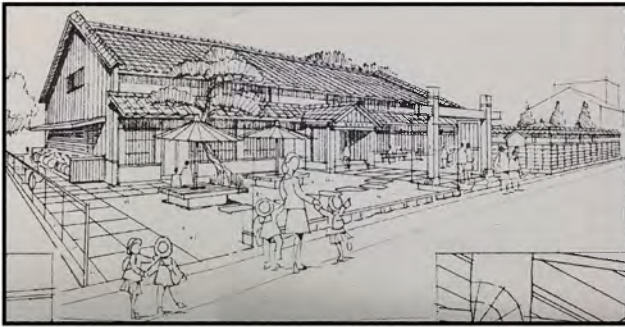
その後はバス車中から源平墨俣川古戦場を見学して帰途につきました。

今回の研修旅行は、江戸時代以前から津島神社の門前町として湊町として栄え、その面影を残す街なみを生かした地域づくりしている津島市と、同じく門前町でありながら土日祭日に特化したような、しかも「食」を中心として繁栄しているお千代稲荷界隈と、異なった地域を勉強しました。

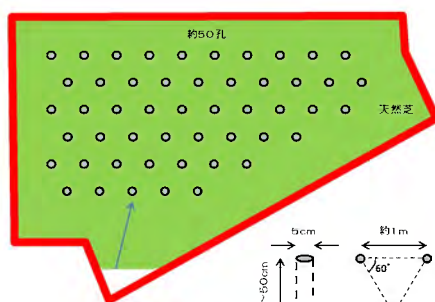
とくに津島市では、「加納でも、こんなガイドがあれば良いのになー」という参加者の声があったように、今後の加納にとっては、加納宿や加納城下を案内するガイドの養成が必要だということを感じた研修旅行でした。

4. 旧加納町役場跡地再整備基本構想 打合せ

2月25日 旧加納町役場跡地再整備基本構想・打合せでの案より



加納まちづくり会の提案(傘干場の再現)



南側庭園を
和傘の展示スペースに改変



建物(屋外テラス)から見たイメージ

2/25(火) 加納東公民館において、旧加納町役場跡地再整備基本構想・打合せが開催されました。現存している旧加納町役場は築何十年も経て劣化が著しく、かつ耐震強度もかなり低下しているため、修復・保存するのが非常に困難な状況にあります。よって現存建物をやむを得ず解体する方針ではありますが、その跡地の活用方法についてはここ数年の間、具体的な方策がありませんでした。

この度、岐阜市より旧加納町役場跡地活用(案)が提示され、その具体的な内容が打合せにおいて説明されました。この内容に対し、加納まちづくり会では副会長・藤沢の監修のもと、南側庭園を「和傘の展示スペース」としてはどうかとイメージを提出しました。

5. 奥平信昌公400回忌追善法要



3/9(日) 盛徳寺において奥平信昌公400回忌追善法要が、中山道加納宿文化保存会主催により執り行なわれました。法要は約50分程で、信昌公の御位牌を前に緊張の面持ちで順に焼香を行ないました。

その後、記念講演として長篠城址史跡保存館長 兼 設楽原歴史資料館館長であられる山内祥二氏が、市町村合併後の2つの歴史資料館の運営について講演されました。行政の立場から見た両資料館の立場・運営のし方の難しさ、一般人から見た資料展示等の工夫・目新しさの創出、地域住民から見た郷土への強い思いなどを説かれました。

記念講演後には、各参加者が境内の奥平信昌・亀姫夫妻の墓所をお参りました。

6. 平成26年度 総会開催のご案内

平成26年度・総会は、5/25(日) 午後1時頃から加納西公民館において行なう予定です。総会終了後は記念講演会として岐阜市歴史博物館・学芸員 望月良親先生をお招きし、「江戸時代の加納城下町と岐阜町」についてご講演頂く予定です。会員の皆様、どうぞご期待下さい。

◎ 会員の皆様へ

加納まちづくり会では、会員の皆様からのご意見・ご要望・その他面白い企画やアイデアを常時募集しております。「ああしたらいいな」「ここをこう改善したら」「こんなことをしてみたい」などイメージで結構ですので、よろしくお願いします。

◎ 本誌のPDFデータについて

会員の皆様にお配りしております本誌(モノクロ版)ですが、カラー版がホームページに掲載してあります。アドレスは「<http://kanou-jyo.net/>」です。ぜひご覧下さい。



問合せ・連絡先

事務局 〒500-8415 岐阜市加納中広江町68 横山ビル3階
事務局長 松尾 一 TEL090-3389-3067 FAX058-274-7197

どうぞお気軽にご連絡ください！

(発行者：水野律子、編集者：塚本睦、篠田哲郎)



加納まちづくり会